

**2004年(平成16年)3月期  
第1四半期  
業績概況説明資料**

**東レ株式会社**

# 目次

---

## . 2004年3月期第1四半期業績概況(連結)

- ・業績の概要 (P3)
- ・事業セグメント別業績の概況 (P4 - 10)
- ・営業利益増加要因 (P11)

## . 2004年3月期中間期業績見通し(連結)

- ・業績見通しの概要 (P13)
- ・事業セグメント別業績見通しの概要 (P14)

## . 2004年3月期中間期業績見通し(単独)

- ・業績見通しの概況 (P16)

# 04年3月期第1Q連結業績の概要

億円

	03年3月期 第1Q	04年3月期 第1Q	増減
売上高	2,367	2,517	+150 (+6.3%)
営業利益	42	94	+52 (+123.0%)
(売上高営業利益率)	1.8%	3.7%	+2.0 ポイント
経常利益	27	84	+57 (+209.4%)

\* 第1四半期連結業績: 3月決算会社は4～6月の業績, 12月決算会社は1～3月の業績を連結

# 04年3月期第1Q事業セグメント別連結業績の概況

前年同期比

億円

	売上高			営業利益		
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減
繊維	1,040	1,073	+33 (+3.2%)	20	50	+30 (+146.1%)
プラスチック・ケミカル	592	657	+65 (+11.1%)	12	14	+2 (+16.2%)
情報・通信機材	345	387	+43 (+12.4%)	21	30	+9 (+41.3%)
住宅・エンジニアリング	144	149	+4 (+3.0%)	15	12	+3 (-)
医薬・医療	103	101	-2 (-1.6%)	2	0	+2 (-)
新事業その他	145	151	+6 (+4.1%)	5	11	+6 (+116.3%)
計	2,367	2,517	+150 (+6.3%)	42	94	+52 (+123.0%)
消去又は全社				0	0	0
連結	2,367	2,517	+150 (+6.3%)	42	94	+52 (+123.0%)

# 事業セグメント別連結業績の概況(繊維)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	
東レ	352	323	-29	7	21	+28	子会社に縫製品事業を移管したため減収となったが、商流改革等による高採算事業への構造転換、新商品の投入、値上げの推進により大幅増益。
国内	345	382	+37	5	9	+4	東レからの縫製品事業のTIへの移管と、製造子会社各社の体質強化により増収増益。
海外	343	367	+24	23	20	-3	アジア各国は堅調に推移するも、欧州子会社が景気低迷の影響を受け、減益。
修正				1	0	+1	
計	1,040	1,073	+33 (+3.2%)	20	50	+30 (+146.1%)	

## < 主要関係会社 >

国内: 東レインターナショナル(TI), 一村産業 他

アジア: ITS(インドネシア), LUCKYTEX(タイ), PENFABRIC(マレーシア), TFNL, TAK(中国) 他

欧米: ALCANTARA(伊) 他

# 事業セグメント別連結業績の概況(プラスチック・ケミカル)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	
東レ	221	216	-5	2	2	-0	樹脂は自動車用途向け、フィルムは、包工材用途のPETフィルムが堅調に推移。
国内	172	214	+42	8	9	+1	ケミカル関連子会社が好調に推移。
海外	198	227	+29	2	3	+1	欧米のフィルム子会社は、包工材特品の拡販が進み増収増益。アジアの樹脂関連子会社は、原料高の影響を受け減益。
修正				0	0	0	
計	592	657	+65 (+11.1%)	12	14	+2 (+16.2%)	

< 主要関係会社 >

国内: 東洋メタライジング, 東レファインケミカル 他

海外: TPA(アメリカ), TSI(韓国), TPEU(フランス), TPM(マレーシア) 他

# 事業セグメント別連結業績の概況(情報・通信機材)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03/3 第1Q	04/3 第1Q	増減	03/3 第1Q	04/3 第1Q	増減	
東レ	161	164	+2	17	21	+4	IT関連樹脂・フィルムが好調に推移し増収増益。 電子情報材料・液晶材料も堅調。
国内	65	112	+47	3	4	+8	IT関連機器子会社が拡販を進め、増収増益。
海外	118	111	-7	7	5	-2	欧米フィルム子会社が、不採算用途からの用途 転換を進めた結果、減収。 韓国は、フィルム子会社が、輸出減と原料高に より減収減益。
修正				0	0	0	
計	345	387	+43 (+12.4%)	21	30	+9 (+41.3%)	

## < 主要関係会社 >

国内：東レエンジニアリング、東洋メタライジング 他

海外：TSI(韓国)、TPA(アメリカ)、TPEU(フランス)、他

# 事業セグメント別連結業績の概況(住宅・エンジニアリング)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	
東レ	16	16	-1	3	4	-1	建設資材は需要低迷継続、水処理が輸出は堅調なるも国内向け低調、全体として前年同期並。
国内	127	131	+5	12	8	+4	建設子会社、エンジニアリング子会社の体質強化を進め増益。
海外	1	2	+0	0	0	+0	
修正				0	0	0	
計	144	149	+4 (+3.0%)	15	12	+3 (-)	

< 主要関係会社 >

国内：東レ建設，東レエンジニアリング，東レACE 他



# 事業セグメント別連結業績の概況 (医薬・医療)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	
東レ	33	28	-5	2	1	-1	競合激化により減収。
国内	61	64	+4	4	1	+3	ポリスルホン膜人工腎臓の拡販と体質強化により増収増益。
海外	9	9	-1	0	0	+0	
修正				0	0	0	
計	103	101	-2 (-1.6%)	2	0	+2 (-)	

< 主要関係会社 >

国内： 東レ・メディカ

# 事業セグメント別連結業績の概況(新事業その他)

億円

	売上高			営業利益			差異理由
	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	03 / 3 第1Q	04 / 3 第1Q	増減	
東レ	21	29	+8	3	6	+4	複合材料は、国内は航空宇宙用途が堅調に推移するとともに、産業用途を拡販し、増収増益。
国内	66	66	+0	0	4	+4	サービス関連子会社が堅調に推移し増益。
海外	58	56	-3	3	1	-1	複合材料関連子会社は、欧州が堅調なるものの、米国は航空機用途が低調で減収減益。
修正				0	0	0	
計	145	151	+6 (+4.1%)	5	11	+6 (+116.3%)	

## < 主要関係会社 >

国内：東レリサーチセンター，東レインタプライズ 他

海外：S O F I C A R (フランス) 他

# 04年3月期第1Q連結営業利益増加要因

億円

	03/3第1Q	04/3第1Q
先端材料・NVC <sup>*</sup> の拡大、生産・営業効率改善(品種構成差, 原単位改善など)、販売量・生産量増など		+58
TCプロジェクト効果(営業費・製造固定費削減など)		+35
販売価格・原料価格などの影響		-41
合 計		+52

\* NVC: New Value Creator

**・ 2004年3月期中間期  
業績見通し(連結)**

# 04年3月期中間期連結業績見通しの概要

04 / 3 中間期見通し(連結)

億円

	前年同期 実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減
売上高	4,985	5,250	+265 (+5.3%)	5,050	+200 (+4.0%)
営業利益	127	210	+83 (+66.0%)	150	+60 (+40.0%)
経常利益	79	200	+121 (+153.9%)	110	+90 (+81.8%)
中間純利益	13	70	+57 (+446.4%)	20	+50 (+250.0%)

\* 通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

# 事業セグメント別連結業績見通しの概要

04 / 3 中間期見通し

億円

	売上高			営業利益			売上高		営業利益	
	前年同期実績	今回見通し	増減	前年同期実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減	期初見通し	増減
繊維	2,091	2,110	+19 (+0.9%)	40	85	+45 (+112.7%)	2,050	+60 (+2.9%)	75	+10 (+13.3%)
プラスチック・ケミカル	1,192	1,310	+118 (+9.9%)	29	40	+11 (+37.8%)	1,200	+110 (+9.2%)	20	+20 (+100.0%)
情報・通信機材	721	760	+39 (+5.4%)	48	50	+2 (+4.5%)	750	+10 (+1.3%)	35	+15 (+42.9%)
住宅・エンジニアリング	447	550	+103 (+22.9%)	18	5	+23 (-)	550	0 (0.0%)	5	0 (0.0%)
医薬・医療	229	210	-19 (-8.2%)	9	10	+1 (+6.0%)	200	+10 (+5.0%)	5	+5 (+100.0%)
新事業その他	306	310	+4 (+1.4%)	15	20	+5 (+31.0%)	300	+10 (+3.3%)	10	+10 (+100.0%)
計	4,985	5,250	+265 (+5.3%)	123	210	+87 (+70.6%)	5,050	+200 (+4.0%)	150	+60 (+40.0%)
消去又は全社				3	-	-3 (-)			-	0 (0.0%)
連結	4,985	5,250	+265 (+5.3%)	127	210	+83 (+66.0%)	5,050	+200 (+4.0%)	150	+60 (+40.0%)

**. 2004年3月期中間期  
単独業績見通し**

# 04年3月期中間期単独業績見通しの概要

04 / 3 中間期見通し(単独)

億円

	前年同期 実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減
売上高	2,234	2,180	-54 (-2.4%)	2,150	+30 (+1.4%)
営業利益	25	70	+45 (+185.2%)	40	+30 (+75.0%)
経常利益	13	120	+107 (+832.4%)	60	+60 (+100.0%)
中間純利益	16	80	+64 (+402.5%)	35	+45 (+128.6%)

\* 通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定です。



本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。  
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

本資料には、証券取引法第166条に定められた重要事実に当たる情報が含まれています。本資料をご覧になられた方が、当該情報に基づいて、公表日時である2003年8月5日12:40から12時間以内に東レ株式会社の株式の売買等を行った場合、「インサイダー取引規制」に抵触する可能性がありますので、ご注意ください。